

令和 2 年度 横川中学校 学校評価書

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

豊かな心と健やかな体、主体的に考え行動する力、互いに協調して根気強く取り組む態度を培い、将来、社会人として「自立と貢献」ができる人間を育成する。

（2）具体目標

進んで学び主体的に行動する生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で気力のある生徒

（3）生徒指標

「強く 聡く 美しく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・「知・徳・体」の教育を調和的に展開することにより、確かな学力や自ら学び、考え、行動する力、豊かな心、健康な心身などの生きる力の育成を図る。
- ・正しい生徒理解や明確な方針に基づいた教育活動を展開することにより、人間尊重の精神を基盤として、生徒の多様な資質や個性を伸ばし、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成を図る。
- ・教職員としての使命を自覚し自ら研鑽に努め、協働して教育活動を推進するとともに、保護者や地域との連携を深め、より一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学業指導の充実による、生徒一人一人の将来の自己実現に向けた基盤づくりの推進
- (2) ○豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進
- (3) 「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- (4) ○認めて褒めて、自己肯定感を高める教育の推進
- (5) ○言語環境の整備と人権尊重の教育の推進
- (6) 特別な支援を必要とする生徒のための指導・支援体制の整備及び個に応じた指導・支援の推進
- (7) 専門性や指導力の向上を目指し、相互に学び合い、業務の適正化を図りながら、教育課題に協働して取り組む教職員集団の構築
- (8) ○小学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり

【横川地域学校園教育ビジョン】

豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育
～自分・人・地域を大切にすることの育成を目指して～

4 教育課程編成の方針

次の4つの視点を踏まえ、地域とともにある学校づくりを推進していくための教育課程を編成する。

- (1) 「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指した教育課程の編成
- (2) 「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえたカリキュラム・マネジメントの充実
- (3) 地域学校園内の小学校との連携・協力による小中一貫教育の一層の充実
- (4) 保護者や地域住民等への情報提供及び家庭や地域との連携・協働

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

生徒一人一人のよさや強みを認め、褒めて伸ばす指導の充実

【学 習 指 導】

○「分かる授業」の展開及び家庭学習の確立による基礎・基本の定着と「主体的・対話的で深い学びの実現」による思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成

【児 童 生 徒 指 導】

○「心のたくましさ」を育てる積極的な生徒指導

○児童生徒の健全育成を目指して—いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかい—(共通スローガン)
～「挑戦する」「我慢する」「あきらめない」「自信を持つ」生徒を育てるための指導の充実～

【健康（体力・保健・食・安全）】

○自他の命を大切にし、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生 徒 の 姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・基礎・基本の定着のため、授業でTTや習熟度別学習を行うなど、生徒一人一人に個別に対応できる学習指導の体制を整える。 ・放課後学習相談も継続して実施する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度に引き続き、「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味関心を高める教材を工夫し、思考力・判断力・表現力を高める学習活動の改善を図る。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・道徳の授業や学級活動で内容の中に明確に位置づけて指導していく。 ・学校行事の目標に思いやりの内容を明確に位置づけて指導していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度未実施の行事もあったため、次年度実施可能なものは明確に位置づけるようにする。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	○生徒手帳に記載されている「学校生活のきまり」を意識して生活させる。特に時間を守る意識の徹底を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・登校時間など、時間に余裕をもって行動することを指導していく。
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	○あいさつを中心に、学校生活のあらゆる場面で、適切な言葉遣いや、発表・報告等ができるように繰り返し指導助言していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 97.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・時と場に応じ、心のこもった品の良いあいさつや会話ができるよう指導していく。
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・自分の個性を理解し、将来の目標を段階的に計画させる。その達成に向けて粘り強く努力するようにきめ細やかな指導を丁寧に行っていく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度同様生徒の目標達成のため、きめ細やかな指導を引き続き行っていく。
	A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・保健体育の授業を中心に学校教育活動全体で、生徒が主体的に取り組めるよう保健主事や養護教諭と連携を図りながら指導していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 96.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 今年度同様各担当者同士が連携を図りながら指導していく。
	A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・発達段階に応じたキャリア教育を実践することにより、生徒の良さを認めながら他者と協働して社会へ参画するように指導助言していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 引き続き生徒の良さを認めながら、生徒が他者の良さを認めていく指導を充実させていく。

	A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・外国語の授業を中心に言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を高める指導を行っていく。 ・T T の時間や A L T との授業の時間に、効果的な活動を取り入れる。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・小学校との連携を深め、今年度に引き続きコミュニケーション能力を高める指導していく。
	A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・総合的な学習の時間や地域のボランティア活動を通して、宇都宮の良さを体験できるように工夫していく。 ・宇都宮学を活用し、宇都宮の良さを感じられるように指導を続けていく。また、学習の様子を保護者へ情報発信していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 83.2% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・総合的な学習の時間の宇都宮学を活用し、宇都宮の良さを感じられるように指導を続けていく。また、学習の様子を保護者へ発信していく。
	A 10 生徒は、I C T 機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・教科ごとに計画的に図書室を利用した授業を行う。 ・総合的な学習の時間に I C T 機器及び図書を効果的に利用した活動をする。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 71.6% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成していない。 ・コロナウイルス感染症予防のため、図書室やパソコン室での密にならない指導が、積極的活用を抑制していたことが大きな要因と思われる。 【次年度の方針】 ・GIGA スクール構想による生徒のタブレット活用を促進する指導を行っていく。
	A 11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・1 年時の施設訪問やボランティア活動等を通じて支援を続け、更なる心の育成に努める。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・状況に応じて 1 年時の施設訪問やボランティア活動等を通じて支援を続けていく。
	A 12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・エコキャップ、アルミ缶回収、牛乳パックリサイクルなどに積極的に取り組むように指導する。 ・ごみの分別を推進する	A 【達成状況】 生徒の肯定的回答 71.3% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成していない。生徒、教員の知識不足が原因としてあげられる。 【次年度の方針】 ・各教科で「持続可能な社会」について教える。教科だけでなく、生徒会活動などで取り組み、関連付けた活動を実践し、意識を高める。 ・生徒だけでなく、教員側の知識と関心を高める。
	目 指 す 学 A 13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・生徒指導部会・支援部会をそれぞれ週 1 回開催し、情報交換を行い、支援の方向性や具体的な方策などを話し合う。 ・報告連絡相談を確実にし、事案に対して素早く対応していく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 88.1% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・情報交換は現状通りとし、幅広いニーズに対応した支援方法の構築と確立を目指す。

校 の 姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	○いじめの未然防止、早期発見および早期対応のために、月1回程度のアンケートを実施する。 ・教職員の人権感覚を高め、学校生活のすべての場面において、いじめが許されない行為であることを生徒に指導していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 95.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・アンケートの効果を高めるため、行事の後など実施のタイミングを考慮する。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・教育相談や三者懇談等を有効活用し、家庭との連携を密に行う。 ・行き渋りのある生徒や欠席がちな生徒に対して早期対応・早期解決を図っていくとともに、各担任で差がないように、確認しながら実行する。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・学習課題等の提出方法を工夫するなど、個に応じた段階別支援を可能にしていく。
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・国際理解教育担当者と担任との連携や家庭との連携を密に取りながら、生徒、保護者について丁寧に対応し、適切な支援を行っていく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 88.1% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・支援を必要とする生徒をしっかりと把握し、適切な支援方法の検討をしていく。
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・これまでの取り組みを継続し、学校行事で生徒会や学級委員長が中心となり、生徒が主体的な活動ができる環境を整え、リーダーの育成に力を入れる。 ・生徒の活動を保護者へ情報発信していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 87.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・状況に応じてこれまでの取り組みを継続し、学校行事で生徒が主体的な活動ができる環境を整え、リーダーの育成に力を入れる。 ・生徒の活動を保護者へ発信していく。
	A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・言語活動の充実を目指し、「見せ合い授業」や授業研究会を通して、各教科で課題を明確にし、分かりやすく、楽しい授業の展開に努める。 ・各授業でTTや習熟度別学習、放課後学習相談を行うなど、生徒一人一人に個別対応のできる学習指導の体制を整えていく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・本年度同様に教職員の資質を高める体制を整える。
	A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・学校経営方針や重点目標を、全教職員が意識しながら業務に取り組み、生徒や学校業務に関する情報を共有し、問題点の把握や改善に努める。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 90.5% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・学校経営方針や重点目標を全職員が意識し、個々の力を適切に発揮しながら業務に取り組めるよう、生徒や学校業務に関する内容の共有理解を図っていく。

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務にあたる。 ・生徒・保護者の対応は、スクールカウンセラーやメンタルサポーター等との連携を図るなど、より多くの職員で対応し、効率的・効果的に行う。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 59.5% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成していない。 ・業務内容が多岐にわたることや、例年とは異なる業務が増えたことにより、勤務時間内に業務を終了することが困難であった。 【次年度の方針】 ・業務内容の精選に加えて、教科間、学年間で教材や資料の共有を行い、各業務の効率化を図っていく。
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・年間の取組内容の精選を行う。 ○「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などの取組がさらに充実するよう、小学校と中学校間での事前・事後の情報交換を密に図っていく。 ・活動の様子を保護者や地域住民に情報発信をしていく。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 90.5% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図っていく。 ・要請訪問や校内授業研究会への参加を通して、小・中間の授業に関する情報交換及び授業力向上を目指す。
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 保護者地域平均の肯定的回答 80%以上	・地域協議会と連携し、活動の充実を図る。 ・保護者に、活動の協力や活動後の報告を行い、普及に努める。 ・市民センターなどに広報誌を掲示し、地域に情報を発信し、啓発を図る。	【達成状況】 保護者地域平均の肯定的回答 94.1% ・評価対象である保護者地域平均の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度は感染症の影響で、ボランティア活動が少なかった。次年度もできる範囲で参加を促し、参加の状況を保護者や地域の方に積極的に発信していく。
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 80%以上	・学級懇談、オープンスクールや三者懇談を通して、家庭と生徒理解を深め、生徒のよさを認め、伸ばせるよう協力し合える関係を築く。 ・総合的な学習の時間では、地域の人材、施設、企業と協力し、生徒の主体的な活動を支援する。	【達成状況】 保護者地域平均の肯定的回答 94.1% ・評価対象である保護者地域平均の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度は感染症の影響で、オープンスクールなどが実施できなかった。しかし、文化祭のネット配信などは好評であった。次年度も状況に応じて、工夫しながら取り組んでいく。
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・学校安全点検をしっかりと行い、修繕すべきところは素早く対応していく。 ・防災訓練等を定期的に行い、安全に関する知識を身に付けさせる。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.6% ・評価対象である教職員の肯定的回答は指標を達成した。 【次年度の方針】 ・引き続き学校安全点検をしっかりと行い、修繕箇所は素早く対応していく。
A25 学校は、学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・パソコン室のＩＣＴ機器が整備されたことを受け、各教科で積極的にＩＣＴを授業で活用していく。 ・各教科で必要な図書等を、各クラスに常備し、授業中に有効活用できるようにする。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 88.1% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・タブレットが生徒一人一人に導入されることを受け、各教科主任を中心として、それらを有効活用した授業実践を行っていく。

本校の特色・課題等	B 1 生徒は、自分のよいところを理解している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・ 道徳や学級活動の時間を中心に、互いの長所を見つけ、認め合う活動を意図的に取り入れ、自他の良いところに目を向けたコミュニケーション能力が身につくよう指導していく。 ○ 学校生活における生徒の頑張りを積極的に称賛し、学校便り等で発信していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.2% ・ 評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・ 生徒の自己肯定感が高まる声かけや励まし、称賛をさらに意識して生徒と接していく。
	B 2 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・ 担任が生徒の家庭学習状況を把握し、適宜アドバイスする。 ・ 自主学習ノートの内容が学年に応じているかの確認を工夫して行う。 ・ 参考になる自主学習ノートの紹介を行うなど、個に合った自主学習ノートの内容について指導する。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 92.4% ・ 評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・ 今年度行ったことを継続して指導支援していく。
	B 3 生徒は、読書の時間に進んで読書を行い、図書室を利用して読書量を増やしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・ 朝の読書を毎日実施し、読書の習慣づけを図る。 ・ 読書週間を設け、全校朗読放送や図書のクラス貸出、お話給食の実施などを行い、読書の啓発を推進する。 ・ 図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。 ・ 1年時に図書室の利用のガイダンスを行う時間を利用し、じっくり図書を選ぶ時間をとったり、貸し出しの機会を増やしたりするなど、一人一人が図書に係わるような指導を増やす。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 69.0% ・ 評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成していない。 ・ コロナウイルス感染症予防のため、図書室の利用を制限していたことが大きな要因と思われる。 【次年度の方針】 ・ 朝の読書の時間を確保し、読書の習慣づけを図っていく。
	B 4 教職員は、生徒の長所や得意なことなどを認め、ほめている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	○ 学校行事や生徒会活動などにおいて、達成可能な目標を設定させ、その達成に向けた頑張りを認め、称賛する。 ・ 学校行事後の振り返りや認め合いシートなどを活用し、生徒を認める場面を増やす。 ・ 教育相談の時間を有効活用し、生徒を認め、称賛する。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 92.2% ・ 評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・ ダイアリーへのコメントを工夫したり、いじめアンケートに記入された生徒の良い行いを学級にフィードバックしたりするなど、生徒を認める場面を増やしていく。
	B 5 教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・ 交通ルールやマナーの遵守および安全な登下校のため、全教職員が、登校指導やPTA生活指導部と連携した下校指導、日々の交通指導に力を入れていく。 ・ 集会や学級での指導を基本とし、家庭や地域の協力も得て、安全な自転車の乗り方や生命尊重の意識高揚に努める。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 85.8% ・ 評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・ 交通ルールを守ることが自分の命を守ることになることを日常的に指導していく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため４月・５月が学校休業となったり、年間を通してオープンスクールが中止になったりと保護者や地域の方々に学校教育への理解をしていただく機会が不十分な中でのアンケートとなってしまった。

・今年度は、アンケート３０項目（内５項目は独自項目）中２６項目は対象者数値指標を達成した。また、２５の共通項目中２１項目が市中学校平均を上回った。

・Ａ１とＢ２の結果から生徒は時間を有効に使い、放課後の学習相談を通して主体的に学習に取り組む姿勢が見られた。また、昨年度より家庭学習の定着が図れた。

・Ａ２とＡ１１の結果から生徒は誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接する行動ができた。道徳科の授業を中心に教育活動全体で心の教育を実践することができた。

○地域学校園内で共通して重点目標にあげている「あいさつ」については肯定的回答が生徒・地域が９５％以上、教職員・保護者も８５％以上である。今後も小中の連携を密にしながら取組を充実させていく。

７ 学校関係者評価

すべての項目で、肯定的回答の割合が高かった。以下のようなご意見をいただいた。

・新型コロナ感染拡大防止のため、活動の見通しが立たない状況で、子どもたちは一人ひとりが気を付けて活動している様子が見られた。さまざまな制約を受ける中、子どもたちの表情も明るさが見られるようになり、安心している。

・Ａ２２の結果に見られるように、今後も新型コロナ感染拡大防止に努めながら、地域との連携を図ってほしいという意見をいただいた。

８ まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・今年度は、コロナ禍で、生徒は経験のないことや不便なことにも耐えながら、新しい生活様式での学校生活を送ることになった。そのような中でも、評価対象者の数値指標は、ほとんどの項目で市平均を上回っている。このことから本校生徒は充実した学校生活が送れたと思われる。

・前述のように、今年度は学校教育についての情報発信が不十分だったという反省に基づき、次年度は充実した情報発信に努めたい。

○今後も各取組を一層充実させるとともに、地域行事への積極的な参加を図り、地域とともにある学校づくりを推進していく。